

「蕨の会」2日目（B班：非登城組）レポート

中山正光（11組）

ツアー二日目、朝風呂は6時からだが、5時45分に大浴場へ。誰もおらず閑散としていた。浴場は茶色（黄金色）に濁ってぬるく、露天風呂も誰もいなかったので殿様気分だ。

7時からの朝食はバイキング形式で美味しい料理がたくさんあって嬉しかったが、集合までの時間は僅か30分で忙しかった。松代から参加の中村宣夫君とはここでお別れ。8時に宿を出て、A班の健脚登城組は小山田君の運転で真田の砥石・米山（こめやま）城跡入口まで直行。登城しない軟弱B班は松代荘の送迎バスで長野駅へ。途中、老人二人の忘れ物騒動があったが、当人の名誉のため詳細は割愛する。

長野駅から新幹線12分で上田駅へ。駅前でB班は2台のレンタカーを借りた。

レンタカーは筆者（中山）と丸山君の運転で真田氏歴史館へ。そこで真田一族の武具や資料を見学のあと、近くの真田氏館跡と御屋敷公園を散策。砥石城から戻ってきたA班と合流して、貸し切りの昼食会場「真田庵」に。地元の食材をふんだんに使った郷土料理とほうとうによく似た「うちいれうどん」をいただきお腹一杯になった。

午後は地元の小山田君の提案で当初計画になかった松尾古城跡と真田氏本城跡まで足を延ばす。標高895mの真田氏本城跡から見下ろす里の風景は絶景だったとのこと。

（歩きや体力に自信のない筆者は下の駐車場で待機）

次は真田氏の菩提寺、長谷寺（ちょうこくじ）を訪ねる。有名な枝垂れ桜は標高の高い真田ではまだ早く蕾状態で残念だったが、幸隆と昌幸の墓所を参る。最後はこれも予定に無かった信綱（幸隆の長男）を祀った信綱寺（しんこうじ）と真田氏の氏神の山家（やまが）神社を参拝して、内容の濃かった真田巡りを無事終えて上田へ。

上田城入口前でほとんどのメンバーが降りて上田城跡公園に入園。幸運にも公園内の桜は今まさに満開で咲き誇っていた。ここで一句《“満開の桜の先に上田城” 前歩》

上田城の前で「UEDA」と刺繍したジャージを着た大勢の男女生徒と遭遇し、「上田高校生ですか？私たちは65期です」と話しかけると「125期です」とのこと。60年後輩の一年生なのだろう、初々しい感じだった。

その後、上田市役所を通過して母校へ。古城の門前で124期2年生の女生徒二人にカメラのシャッターを押してもらい記念撮影を。岡田君と原田君は一足先に帰宅。

17時、駅前の懇親会会場「GATTUKIがつつき」へ移動する。そこに地元の中村幸男君（4組）と布施修一郎君（6組）が参加してくれたのは嬉しかった。

2時間飲み放題を満喫後、集合写真を撮影して二日間の真田ツアーは無事散会となる。14人のうるさい爺さんたちを纏めてくれた幹事の成澤会長、遠路大阪から駆けつけてくれた真田出身の幹事山岸君、そして丸子から自家用車を配車して、臨機応変のガイドをしてくれたた小山田君、ありがとう。（以下写真5葉）（2024年4月14日記）



真田氏歴史館、B班、左から中山、丸山、神宮、小宮山、成澤、岡田、沓掛



真田氏本城跡を歩く



上田城跡公園のしだれ桜



上田高校校門前にて、前列左から上原、関、沓掛、成澤、神宮、浅倉、原田、
後列左から中山、山岸、丸山、小宮山、小山田



「GATTUKI」にて懇親会、前列左から上原、中山、成澤、小宮山、浅倉、神宮、
後列左から小山田、中村幸男、布施、関、山岸、沓掛、丸山

以上